



●発行所／リバイバルミッション  
●〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1  
●TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220 ☎0120-291-372  
●office@j-revival.com ●http://www.j-revival.com



## 私たちに与えられている 戦いの武器

私たちの戦いの武器は、肉のものではなく、神の御前で、要塞をも破るほどに力のあるものです。

コリント人への手紙 第II 10章4節

今年は、全日本リバイバル甲子園ミッションからちょうど30年の節目を迎えました。先日、YouTubeで一麦西宮教会の下條末紀子先生がインタビューで当時の様子を熱く語っておられるのを視聴し、大きな感動を覚え心燃やされました。

「甲子園球場において、日本人の牧師による伝道集会をしたい」と下條先生が1988年に語られたビジョンを、神様に心動かされた滝元明先生が受け取り、「5年後に甲子園で集会を開きましょう」と手紙を

出されたことをきっかけに、全日本リバイバル甲子園ミッションが動き出しました。「この大会は、組織ではなく神によって心動かされた者によって進めていきます」と始められたこの働きに、人手によらず、心動かされた者たちが集められてきました。92年2月には甲子園球場の近くに事務所が設置され、93年11月の本大会までの間、全国各地に祈りの勇士が与えられ、多くの祈りが積み重ねられました。反対の声も多々あり戦いは激しかったですが、多くの教会の協力を得、全国750カ所の決起大会がなされ、献金も毎月送られてきました。

私は大会の財務・運営という大役を仰せつかり、週3回ほど朝、甲子園の事務所に出掛け、新城に戻って夜に印刷（プレイズ出版の働き）をするという生活が続き、肉体的には疲れましたが、心には大きな喜びがありました。

甲子園ミッションの3日間の集会で、多くの方の人生が変えられました。それは、要塞をも破るほどに力のある神の武器によって、一人ひとりが心からの祈りをささげ、私たちの共通の敵であるサタンに立ち向かった霊的戦いの勝利でした。

しかし、戦いが終わったわけではありません。これからも人間の知恵や組織ではなく、主に頼り、与えられている戦いの武器によって、圧倒的な勝利をこの日本に現していただきましょう。



サーバントチーム  
**岡本信弘**  
Nobuhiro Okamoto



全日本リバイバル甲子園ミッション  
30周年特別企画・第2弾

# 対談

有賀喜一師 × 小山健師

リバイバルミッション顧問  
有賀喜一師

岐阜純福音教会主任牧師  
小山健師

## 小山健師 (以下敬称略)

ハレルヤ! 全日本甲子園リバイバルミッション30周年記念の対談企画として、前回の下條末紀子先生に引き続き、今回は有賀喜一先生からお話しをお伺いいたします。有賀先生よろしくお願いたします。

## 有賀喜一師 (以下敬称略)

よろしく願います。90歳を迎えた有賀でございます。滝元明先生をはじめ、先生方と全日本リバイバルミッションをご一緒させて頂いて、本当に素晴らしい感動でした。私が救われたのは今から76年前。そして長年家族からの迫害を受けましたけれども、まず母が救われた。実は、その母の救いに滝元明先生が関わっておられるんです。滝元先生が郷里の福島県白河の教会に招かれた時、母が初めて教会に行ったんですよ。

小山 / 有賀先生は甲子園ミッションでは、推進実行委員長をされましたが、どのような経緯でこのお役割を受けられたのでしょうか?

有賀 / まず全て神様のご計画、神様の絶妙なタイミングであったと思います。私は(甲子園ミッションの前に)「我が臨在、汝と共に行くべし」と主か

ら語られました。さらに祈ると「深みに漕ぎ出しなさい」「主の道を備えなさい」「あらゆる人が神の救いを見るようになる」と語られ、神学教育から宣教に全人生をかけることを決意し、1988年に12年間仕えていた神学校の校長を辞任していました。そのような中で、愛知県民の森での教役者セミナーに招かれ、集会の中で、下條先生から甲子園での伝道集会のビジョンのチャレンジがありました。その次の年に、滝元先生が下條先生の重荷を受け止めて、信仰によって1993年に甲子園リバイバルミッションを実行すると宣言されたんです。これはすごいことになるなと思いました。すると滝元先生が「開催のための組織は作らないけれど、その推進実行委員長を受けて頂きたい」とご依頼を下さいました。2週間の期間を頂き、お祈りしていると「見よ。私は新しいことをする」(イザヤ43:19)「恐るるな。虫けらのヤコブ…見よ。わたしはあなたを鋭く新しい諸刃の打穀機とする」(イザヤ41:14-15)と御言葉を与えて下さり、これは神様の日本に対する新しいご計画を実行するために、神様が導いて下さったんだと確信して、推進実行委員長をお受けいたしました。

小山 / 有賀先生は、長年、日本・世界宣教に主体的に関わって来られました。その宣教の歴史の

流れの中で、甲子園リバイバルミッションをどのように捉えておられますか?

有賀 / 私は、1966年のベルリン世界伝道会議に参加し、私達が伝えるべき「福音」に力強く立つことを再確認しました。1974年のローザンヌ世界宣教会議の際には「福音宣教」と「社会的貢献」の両方の必要が語られ、1989年のローザンヌ・マニラ大会で、聖霊派が加わり「癒し」「霊的な戦い」も含め、福音の全て(フルゴスペル)を語る必要性が示されました。いよいよこれを全日本に展開するというので、おそらく日本宣教の歴史の中で甲子園ミッションが初めて、救霊に焦点を合わせた「霊的戦い」を推進する機会となりました。

小山 / 推進実行委員長として、大会準備をされていく中で大きな恵みと共に、ご苦勞もお待ちしておりますが、いかがでしたか?

有賀 / 甲子園ミッションは、聖霊様が乗り出されて私達を導かれた。第1に、聖書信仰に立って「聖書が言っていることはなんでもやる。聖書が言わないことはやらない」としました。第2に「聖霊による協力」のチャレンジがありました。大会準備の中で、福音派とペンテコステ派との和解の機会も与えられました。また、2年間で約750カ所で開催集会・祈り会を開催する中で、主からの一致が与えられていきました。さらに「甲子園には6万人の座席がありますから、6万人×3日間=18万時間祈ろう!」と目標を定め、1万5千人の祈りの勇士が登録されました。結果として、その3倍ぐらいの祈りが大会までに積み重ねられていきました。やっぱりこの祈りの勝利、結果として、あのように毎晩たくさんの方々が集められ、多くの決心者が与えられた。聖霊様が主役になって働かれました。

小山 / 祈りが積みまれ、迎えた甲子園ミッションの会場に立たれた当日。どのように思われましたか?

有賀 / いよいよ神様が日本全体のレベルでお働きを推進されたなど。「神様、なさいましたね!」と思

# 全日本リバイバル甲子園ミッション30周年記念集会 開催決定! 11月11日

※詳細は後日発表



## あなたの街に福音の種を蒔き続けましょう!

### Go To Mission 北関東地区報告

今回は6月22日~25日の4日間で北関東で5つの教会に伺いました。音楽ゲストに安武さん、そしてメッセンジャーとして平岡先生というチームでしたが、今回は茨城の恵泉キリスト教会小美玉チャペルからのスタートでした。午前中の集会にも関わらず、多くの年配の方々中心に席が埋まっていきました。平岡先生の神学校の恩師の先生もこれ、お昼の交わりも楽しかったです。2日目は茨城の結城リバイバルチャペルに伺いました。久しぶりという事もあり、集会出来る事もうれしく、沢山の牧師先生とも再会し、ご挨拶させていただきました。3日目は群馬のニューライフキリスト教会に伺いました。夫婦で教会されていた家の教会ですが、数年前にご主人が亡くなって以来久しぶりの伝道集会で、不安もあったようですが、当日は座る場所がないほど沢山の皆さんが来て下さり、伝道する事の喜びをお互い分かちあいました。最終日は栃木県の2つの教会に伺いました。どちらも平岡先生の出身地で、かつなじみが深い教会ですので、平岡先生のお知り合いが沢山来られていたように感じました。それぞれ新しい世代の若い牧師達と一緒に働けた事もうれしかったです。最後の黒磯福音教会の壁には若かりし頃の平岡先生や有賀先生、また滝元明先生の写真も飾ってありました。今回も、どの教会も大歓迎して下さい、再会を喜び、共にチームとして伝道集会が再び開催出来たのをとても嬉しく思います。



## 9月の開催スケジュール

各地の集会のためにお祈り下さい!



四国地区 講師 / 平岡修治 ● ゲスト / 中村匡

9月15日 [金] まんでがんバプテストチャーチ・香川県

9月16日 [土] 四国中央ゴスペルチャーチ・愛媛県

9月17日 [日] キリスト丸の内教会・香川県  
善通寺バプテスト教会・香川県

9月18日 [月] ぬまはら皮ふ科・香川県

関東地区 講師 / 平岡修治 ● ゲスト / 井草聖二

9月23日 [土] オリーブチャペル・神奈川

9月24日 [日] 大泉セントラルチャペル・東京都  
田園宮前チャペル・神奈川

いました。大会では、ストレートな福音メッセージが見事に語られ、多くの応答・決心者が与えられました。神様が日本の新しい時代を始められたなと実感しました。

**小山**／甲子園ミッションから30年。素晴らしい恵みもあふれていますが、もっと救われる魂が起こされてほしい、教会が成長していきたいと皆さん願われていると思います。日本で福音宣教が拡大するために、有賀先生は何がカギであると思われませんか？

**有賀**／リバイバルが起こる時には「若い方々が用いられる」ようになります。日本においても先生を始め、若い方々が育ってきている。リバイバルミッションの中でも若手の先生方がサーバントチームを通してよい企画をされ、前進されてきています。また、「女性が生き生きと仕える」ようになりますが、今、女性の方々が各教会で用いられて来ておられることを見ることができて、本当に嬉しいです。また「病の癒し。霊的解放」が起こってきますが、そのようなことも各地の集会で見られるようになっていく。今、日本宣教を見る時に、神様の宣教の最終段階の領域に入ってきたのかなと思っています。

ここ数年来、海外の方々の励ましの祈りの中でしきりに用いられる言葉があります。それがイザヤ書60章1～3節です。『起きよ。輝け。まことに、あなたの光が来る。主の栄光があなたの上に輝く。見よ、闇が地をおおっている。暗黒が諸国の民を。しかし、あなたの上には主が輝き、主の栄光があなたの上に現れる。国々はあなたの光のうちを歩み、王たちはあなたの輝きに照らされて歩む』。

日本は世界で一番伝道しにくい国になっていると思います。でも、見ていなさい！日本には今まであり得なかったような素晴らしいことが起こってくる！と。日本の教会がこれからはいよいよ輝いて、世界がびっくりする時が訪れる！と信じます。

**小山**／日本は、世界中から祈られてきました。また日本でも長年、本当に多くの祈りが積まれてきました。日本の大リバイバルの時が間近に迫っていると、終わりの時の前に必ず来ると信じます。共にその時を見たいですね。

**有賀**／はい。そのためには、一人一人が聖霊に燃やされ続け、聖書信仰に立ち、霊的な戦いをしっかり戦い抜いていく。リバイバルの火を持って、灯し続け、拡大していくとい

うことです。

**小山**／甲子園ミッションから30年。各地にその火、素晴らしい働きが掘げられてきました。最後に先生から、若い世代、そして共に走って来られた上の世代の方々の両方に励ましのお言葉をお願いしたいと思います。

**有賀**／主の計画と思いはいくつもの世代に亘っていきます。滝元先生が下條先生を通してのチャレンジを受け取られたように、若い世代の方々がしっかりビジョンを神様から受け取って頂きたい。ビジョンというのは自分が神様のために何をしたいかというのではなく「神様が自分を通して何をしたいか」です。『わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る…わたしの霊を注ぐ』(ヨエル2:28-29)と主は言われています。聖霊の賜物は2代目、3代目、特に3代目くらいが顕著らしいんですよ。先生は2代目ですね？

**小山**／はい、そうです。

**有賀**／では、先生の息子さんの世代も見ものですね。神様は、それぞれの年齢に応じてふさわしく、その経験を生かして下さい。川が海に流れ込む「河口」には必ず満潮干潮があります。満潮の時は海の水が川にさかのぼり、干潮の時は川の水が海に流れ込む。同じように、年配の方が完全に退いてしまうのではなく、この河口モデルのように、年配の方と若手の方と関わり続けていくことが実現できたらよいのではないかと思います。全年齢層の人々が神様の御計画の中で、最後の一息まで使命を全うしていくように願っております。

**小山**／有賀先生ありがとうございます。この対談の機会、本当に感謝したいと思います。

**有賀**／この対談をご覧になった皆様に、神様の祝福が豊かにありますよう、お祈りしています！感謝します！

※今回のニュース誌上では誌面の都合上、抜粋した内容をお届け致しましたが、インタビューの全編をリバイバルミッションYouTubeチャンネルにてご視聴頂けます。ぜひご覧ください。



リバイバルミッション  
YouTube

1 tue

2 wed

3 thu

4 fri

5 sat

ZWSオンライン

6 sun

7 mon

Zoom de Fワカモノ  
霊的戦い専門課程Vol.10配信開始

8 tue

9 wed

10 the

Pray for Revival  
スペシャル in 東京

11 fri

12 sat

WWW

13 sun

14 mon

15 tue

Zawameki  
同刻プレイス

16 wed

17 thu

18 fri

19 sat

ZWS東京

20 sun

21 mon

22 tue

Zoom de F  
神学校OB

23 wed

24 thu

25 fri

26 sat

27 sun

28 mon

29 tue

30 wed

31 thu

**[土] 13時～16時 ●会場 / 活けるキリスト—麦西宮教会**



8/12 19:30～  
土

メッセージ / 田中進

Wakamono Worship Wave

リバイバルミッションYouTubeチャンネルより生配信

「Road to Lord あなたの道、を受け取ろう！」

「笠井キリスト福音教会」を会場に今回もハイブリッドで開催！人気コーナーパイブルチャレンジや賛美や祈りのときを皆さんぜひ一緒に過ごしましょう！

**6月のすりだぶは伝道集会コンサートとして会場と配信とのハイブリッドで開催されました。**

ファンキーなギターの演奏のSho Kamijoさん、パワフルな歌声の多和田えみさんのお二人をお迎えし、アコースティックながらも力強くまた楽しいMCも交えながら会場を盛り上げてくださいました。またメッセージャーに平岡新人先生を迎え、絵本を用いながら「聖書とは、神様とは」をわかりやすく語っていただきました。当日は会場に96名(奉仕者含む、うち求道者44名)そして配信時の閲覧数104名、計200名近くの方々が参加していただきました。皆さんのお祈りや献金によるサポート、奉仕者の方々の働き、また大いなる主の御業により開催できたことを心より感謝します。このコンサートにより撒かれた種が実を結び、すりだぶの働きも更に主に用いられていくようお祈りいただけましたら幸いです。YouTubeにてアーカイブが残されていますので、ぜひ今からでも何度でもお楽しみください！



YouTube  
アーカイブQRコード

6月のすりだぶ  
Report of  
Acoustic Night  
2023  
報告





# Pray for Revival スペシャル in Tokyo

この国のいやしと救い、リバイバルを求めて祈る！

日本の首都でリバイバルを求めて祈る集会です。  
会場での参加とYouTube配信でご参加頂けます！

**2023年8月10日[木] 朝11:00~12:30**

会場／お茶の水クリスチャンセンター416号室  
東京都千代田区神田駿河台2丁目1

メッセンジャー／金子道仁師 [グッドサマリタンチャーチ牧師]

特別賛美／堀井ローレン

賛美リード／田中進

※集会参加の事前の申し込みは必要ありません。 PFRが視聴できます

Pray for Revival

集会  
ハイブリッド



14時  
スタート!

## 国会議事堂とりなし祈禱

国会議事堂の中を巡って、国政のため、日本のリバイバルをとりなし祈ります！  
当日、参加出来ない方も、ぜひ時間を合わせてとりなしお祈り下さい！

※国会議事堂とりなし祈禱につきましては、お申し込みを締め切らせて頂きました。



# Zoom de フェロシップ 8月のお知らせ

参加費無料!!

Zoom de フェロシップは、参加費無料でどなたでもご参加頂ける、クリスチャンの交わりの場として提供させて頂いています。ぜひご参加下さい!

●お申し込みはホームページまたは事務局にお電話でお申し込み下さい。

## ユースフェロシップ ワカモノトークルーム

- アドバイザー 10~30代のワカモノが集まり  
平岡新人 信仰のことや神様のこと  
[サーバントチーム] 何気ない雑談など楽しく
- MC 杉浦美紀、瀧元栄主、  
田中咲 話していますどなたでも  
ご参加ください。

●今月のZoom配信日時

**8月7日[月] 20:00~**

ユースフェロシップ専用  
申込みメール▼  
surudabu.rm@gmail.com

YouTube限定配信もあります。  
Zoomに参加が難しい方も、お気軽にご参加ください!

## リバイバル聖書神学校 OBフェロシップ

- 司会進行 今回は  
田中進・平岡新人 「卒業生修了生の今」  
[サーバントチーム] の第一弾。
- ゲストは  
どりあ山崎ランサムさん  
です。

●今月のZoom配信日時

**8月22日[火] 20:00~**

## 韓国語フェロシップ

- 新しい方、韓国語全くの  
初心者も 大歓迎です。 シンガーで牧師のチェ先生が  
毎月新しい韓国語の  
賛美を紹介して下さいます。  
また曲の歌詞や、  
簡単な韓国語をレクチャー。

●講師

チェ・ヨンドゥ  
[韓国・シャローム教会牧師]

●今月のZoom配信日時

**9月12日[火] 20:00~**

※8月は  
お休みです。

# 霊的戦い、専門課程第12期



2023年9月スタート!

突如として愛知県新城でスタートした  
霊的戦いからはや30年以上が経過。  
常にブラッシュアップしながら前進しています。  
ジャストな今の霊的戦いを自宅インターネットを介して  
総括的に学べます!!  
年間10回、各40分の10セッション、合計100セミナーです。

講師／瀧元順、鈴木陽介 他

●受講料／8,800円 [税込]

1回10セッション

●年間受講料／79,200円 [税込]

10回100セッション

※配信は12期終了2024年9月末まで視聴可能

ハイブリッド開催時は愛知県新城市の  
リバイバルミッションセンターで対面でも受講できます。

●宿泊・食事代／5,500円 [税込]

[1泊2食・朝軽食付]

※会場での受講者も配信を視聴することができます。

●全10回日程

- ①9月25日(月)―26日(火) ※対面
- ②配信のみ
- ③11月20日(月)―21日(火) ※対面
- ④1月22日(月)―23日(火) ※対面
- ⑤配信のみ
- ⑥3月25日(月)―26日(火) ※対面
- ⑦配信のみ
- ⑧5月27日(月)―28日(火) ※対面
- ⑨配信のみ
- ⑩7月22日(月)―23日(火) ※対面

※日程は変更する場合があります。



9月2日[土] 10:00~16:15

講師／瀧元望 (SIRネットワーク代表) 他  
受講料／5,000円 [3セッション]

●参加方法

- ①会場での参加
- ②Zoom参加 (顔出しなし、視聴のみの参加も可能)
- ③後日ビデオ配信視聴での参加

セッション① 10:00~11:30 昼食  
(会場参加者のみ600円別途必要)  
セッション② 13:00~14:30  
セッション③ 14:45~16:15

●スケジュール

●会場

リバイバルミッションセンター  
①会場での参加は、  
先着10名様までとさせていただきます。

会場参加の  
お申し込みが切  
8月28日[月]

9月は、「地のいやし」に焦点を当てて学んでいきます。  
とりなしは、私たちが主から委ねられている宣教地に十字架から与えられる真のいやし  
をもたらしていくための働きです。パプアニューギニアや多くの南太平洋地域で与え  
られている「地のいやし」の証しにも耳を傾けながら、主から委ねられている宣教地、  
日本とアジア太平洋地域のために備えていく時となる事を願っています。

## ●会計報告2023年5月度

いつもリバイバルミッションのためにお祈りご支援くださり、心から感謝いたします。2023年も後半に突入しました。開催していますGo Toミッションも、皆様が直に福音に触れ、賛美に触れることができなかった三年間を取り戻すかのように期待準備して下さって大きな祝福の時となっています。しかしながら、まだまだ経済的には厳しい状態が続き、昨今の物価高もじりじりと会計を圧迫しているのは間違いありません。8月以降も東京でのPray for Revivalが開催されたりGo To ミッションや専門課程もさらにパワーアップしていきたいと願っています。福音宣教の使命を全うすることができるよう今後も引き続き皆様のお祈りとご支援を何卒よろしく願います。

●献金送付先.....

三菱UFJ銀行／名古屋営業部 普通 2569313

ゆうちょ銀行／振替口座 00860-0-33814

クレジットカードによる献金 <http://j-revival.com/rm/card/>



収入		支出	
前月繰越金	-803,339		
一般献金	1,158,549	事務運営管理費	1,370,243
集会献金・参加費	337,800	一般旅費交通費	57,293
国内宣教指定	239,900	通信費	442,185
世界宣教指定	12,300	印刷費	205,898
霊的戦い部門指定	83,300	国内宣教諸経費	347,414
ざわめき指定	438,149	集会諸経費	91,043
		霊的戦い諸経費	40,969
		ざわめき諸経費	325,547
		銀行借入返済	349,956
収入合計	2,269,998	支出合計	3,230,548
		次月ミッション繰越金	-1,763,889



フリーダイヤル ☎0120-291-372

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1

TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220

✉office@j-revival.com

URL: <http://www.j-revival.com>

※次回9月号のニュースは8月20日(日)発行予定です。



リバイバルミッション情報  
祈りのLINE登録してお祈りください!



リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します!  
●友達登録方法・・・「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録



それぞれフォロー、登録して下さい。  
Facebook, Instagram, Twitter, YouTubeのアカウントがあります。